

ハンノキ通信

植え戻し号

ハンノキ通信 冬号 平成25年1月発行
【発行・問い合わせ先】
あらかわ市民環境サポーター事務局
(国土交通省 荒川上流河川事務所 河川環境課内)
TEL : 049-220-0145 FAX : 049-247-9850
MAIL : 3biotop@ktr.mlit.go.jp

荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

よいしょ
よいしょ



出丸小学校

ハンノキの植え戻しと種子採取をしました！

荒川ハンノキプロジェクトに参加している学校・団体の子どもたちが、ハンノキの植え戻しと種子採取、保全管理作業などしました。

ハンノキ、元気に育つね

出丸小学校、川島こどもエコクラブでは、2年間、一生懸命育てたハンノキを三ツ又沼ビオトープに植え戻しました。ハンノキの根を傷つけないように、植木鉢から取り出し、掘った穴に苗を植えた後は、たっぷりと水をあげました。



三ツ又沼の横に植えました！

ハンノキの
種子って、
小さいなあ



太平中学校

ハンノキの実をほぐして…

ハンノキの実を一つひとつほぐして、種子を集めました。これを4月と5月にまいて、子どもたちが2年間育てます。



もっと深く
掘らなくちゃ！

川島こどもエコクラブ

出丸小と太平中の子どもたちによる管理作業

出丸小学校と太平中学校の子どもたちが、保全管理作業をしました。今回は、ハンノキに太陽の光が当たるよう、幹や枝をおおってしまっているツル植物‘カナムグラ’を取り除きました。また、太平中学校の子どもたちは、

背の高い水辺の植物‘ヨシ’を一ヶ所に集めました。三ツ又沼ビオトープでは、冬に枯れたヨシを刈り取ります。そうすると、春に日の光がたくさん地面に当たり、いろいろな野草が生えることができるのです。



出丸小学校



太平中学校

モズのはやにえ



【時期】一年中

モズは木の枝などのトゲにカエルやバッタなどをさす習性があり、これを「モズのはやにえ」という。この習性は、保存食にするため、あるいはなわばりの目印になど、さまざまな説がある。

ジョウビタキ

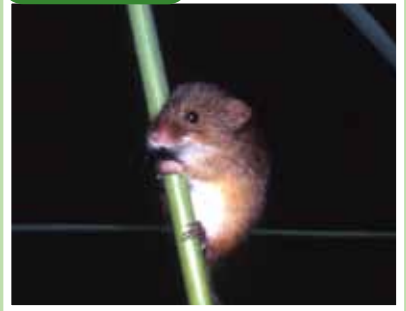


【時期】10～3月

冬鳥。日本よりも北の国から訪れ、明るい草原や林のまわりで生活する。オスは、胸から腹にかけて、あざやかなオレンジ色。「ヒッヒッヒ」「カッカッカ」と鳴く。

カヤネズミ

埼玉県 RDB
準絶滅危惧



【時期】一年中

世界最小のノネズミ。人の親指程度の大きさで、体重は1円玉約7枚分。長い尾をオギやヨシなどの植物の茎に巻きつけて草の上でも軽やかに動く。春と秋に子育てをする。

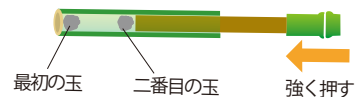
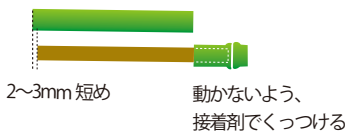
野遊び教室 竹の紙鉄砲を作ってみよう!

竹林は、小鳥などの動物たちのすみかになりますが、広がってしまうと日の光が大好きな野草が生えにくくなってしまいます。計画的に竹を切って、明るいところが好きな野草の生える場所がなくならないようにしましょう。刈り取った竹は、紙鉄砲の材料になります。

用意するもの ふしのある竹（玉を飛ばすつつ、なるべくまっすぐな方がいい）、紙鉄砲のつつになる竹より細い竹、玉（新聞紙やチラシを丸めたもの）、ノコギリまたは小刀、接着剤

作ってみよう!

- 竹のふしのある方から 5～7cm 位のところを切る
※持ち手の部分は、はじめのふしを残す! 本体の方はふしを残さない。
- ふしのある方の竹（持ち手）に、接着剤をつけた細い竹を差し込む。細い竹の長さは本体より 2～3mm 短めにする
- 最初に玉を一つ入れ、細い竹で押しこむ。その後、2 番目の玉を入れて強く押しすと最初の玉が飛び出す ※玉のサイズは、つつの穴より小さすぎると、うまく飛びません。



注意

- 人に向けて遊ばないようにしましょう。
- 三ツ又沼ビオトープ内で、紙鉄砲の材料になる竹を切るときには、環境サポーターの指導を受けましょう。詳しくは、あらかわ市民環境サポーター事務局までお問い合わせください。

【三ツ又沼ビオトープへ行こう!】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省と一緒に、自然をより良くする作業や「荒川の自然って大切だね!」と、人々に伝える活動をしています。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています（荒川上流河川事務所にて登録）。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!

